



グループ発表をふまえて、池田先生まとめ

本日、各グループからたくさんの青根地域の魅力が出され、地域資源が豊富であることが改めて分かりました。青根地域の豊かな自然の中だからこそ、豊かな人情が育まれており、コミュニティが維持されていると感じました。次はこのたくさんの資源をどう活かしていくかが重要です。以下の2つをポイントとして本日の総括といたします。

ポイント1 ひとつの気づきから、何かひとつ実行に移しましょう。

まちづくりはなかなか進まないと感じることもあるかもしれませんが、しかし皆さんが何かに気づき一つでも行動に移していくことが、将来の大きな動きにつながっていくはずです。

ポイント2 青根地域の豊かさを発信していきましょう。

青根地域のものやイベント、文化などを伝えていくことが重要です。まずは相模原市全域へ、その次は全国へ、さらに世界へと向けて発信をしていきましょう。

参加者の感想（アンケートより）

- ◆ 共通の未来像を住民、関係者でえがけるのではないかと思うので、今後の進み具合に期待です。
- ◆ 青根が生き残れる要素は多くあるが、それをどの様に生かし、活用して行くかが最大の課題と考える。外部からの移住者（若者）がカギを握っていると考えます。
- ◆ いろいろな話が聞けて良かったです。良い人がいる一方で、これからのこの地域がどうなるか心配です。SNSでの共有をお願いします。
- ◆ 青根を見直す良いチャンスでした。まだまだ活かせる物が有ると感じました。

次回開催のお知らせ

- 開催日時：令和2年11月8日（日）14:00～16:00
- 場所：旧青根中学校体育館

お問い合わせ

相模原市 緑区役所
 区政策課 TEL：042-775-8802
 青根出張所 TEL：042-787-2511
 メール：g-kuseisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

青根のまちづくり検討委員会×法政大学多摩地域交流センター×相模原市

青根地域のこれからの話し合おう

～第1回ワークショップのご報告～



令和2年9月27日（日）「地域の資源（魅力）を知ろう！」をテーマとして、第1回ワークショップを開催しました。当日は、たくさんの地域の方にご参加いただき、青根地域の振興に向け活発な議論がなされました。今回は、第1回ワークショップの概要についてご報告させていただきます。

中山間地域振興モデル事業の目的

緑区基本計画（令和2年3月策定）において、緑区特有の大きな課題である中山間地域の人口減少への対策や地域振興を推進し、持続的なまちづくりを進めるために、緑区の特徴を生かした施策展開を図ることとしています。

こうした中、青根地域をモデル地区に定め、地域振興に向けた取組を段階的に実施することとし、今年度は青根地域の資源や特性について再認識し、この環境を将来にわたって保全・活用するとともに、地域の将来像を描き、地域において今、何ができるかを考える場としてワークショップを開催するものです。

青根のまちづくり検討委員会 関戸会長あいさつ

今回青根地域がモデル地区になったということで大変喜ばしく思います。青根地域には様々な課題がありますが、同時にたくさんの資源があります。地域で今後どうしていきたいのか皆さんと一緒に考え、まとめていきましょう！



第1回ワークショップのプログラム

- 開催日時：令和2年9月27日（日）14:00～16:00
- プログラム：
 1. 開会
 2. 事業概要の説明
 3. 講演『青根地域のこれからの考える』（法政大学多摩地域交流センター池田先生）
 4. グループワーク
 5. グループワーク結果発表&池田先生講評
 6. 閉会
- 場所：旧青根中学校体育館
- 参加者：青根地域にお住まいの方、青根地域の関係者の方 40名

講演『青根地域のこれからを考える』

いけだ かんじ

講師：法政大学多摩地域交流センター長 池田寛二先生



- 法政大学社会学部教授
- 2019年より法政大学多摩地域交流センター長
- 専門分野は、環境経済社会学、気象変動政策、森林・林業政策、インドネシア地域研究
- 八王子市斜面緑地保全委員会会長(2005-09)、環境社会学会会長(2015-17)

池田先生による「青根地域のこれからを考える」講演概要

私と青根地域との関わりは、十数年前、社会調査実習で学生に体験学習をさせていただいたのが始まりで、これまで青根地域に関する様々な研究を取りまとめてきました。現在までには地域の長い歴史があり、激動の青根の時代を記録してきたと思っています。今回改めて地域振興に関して地域の皆さんと議論をスタートするにあたって、以下の点をポイントとしながら議論を進めていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

1. 地域を考えることは地球を考えることと、ひとつながりになっています！
2. ワークショップは、考えながら語り合うという作業を行う場です！
3. 「あるもの・こと」から考えていきましょう！
4. 一番大切な資源は「人」！
5. 何事も「できない」ではなく「できる」「できるかもしれない」と考えてみましょう！
6. これまで検討してきたことを振り返って、これからの出発点と目標を確認しましょう！
7. 異見をよく聴き、優先順位を考えてすり合わせしましょう！

第1回ワークショップ検討手順・テーマ

テーマ 「地域の資源（魅力）を知ろう！」

1-自己紹介

4~5名が1グループになり、名前・青根地域との関わりなどについて自己紹介しました。



2-グループワーク

地域と関わる中で感じている青根地域の魅力を、たくさん出し合いました。出された魅力は「もの・こと・ひと」に分類しました。（詳細は右ページ→）

3-グループワーク内容発表

各グループで話し合った内容を全体に発表し、参加者みんなで共有しました。



青根地域の資源（魅力）を知ろう！（各グループ検討内容より抜粋）

当日の意見から一部ご紹介します！

もの 自然・史跡・施設・食べ物など

- ◆ **自然**／星空、山、道志川、神之川、紅葉、川の水、四季の移り変わり、風景、山並み、おいしい水、蛭ヶ岳登山ルート、丹沢国定公園、コスモス畑、棚田、シロヤシオツツジ、さわやかな空気 など
- ◆ **史跡**／青根の大杉、石碑、監視哨跡など
- ◆ **施設**／キャンプ場、いやしの湯、旧青根中学校、ヤッホー台、天体望遠鏡、ガラス工房、蔵、青根苑 など
- ◆ **食べ物**／地場野菜（トマト、リンゴ、ブルーベリー、菊芋、小麦、わさび）、うどん、山菜、梅、川魚、郷土料理 など



こと 歴史・イベント・行事・産業・文化・環境など

- ◆ **歴史**／折花姫伝説、昔からの言い伝え、十五夜・十三夜、北条と武田の戦い など
- ◆ **イベント・行事**／青根大運動会、道志川合唱祭、文化祭、花火、地域のイベントが多い、北丹沢山岳耐久レース、マラソン大会、どんど焼き、星空教室、昔からの行事を大切にしている など
- ◆ **産業**／農業、林業、地域外交流、バイオマス発電 など
- ◆ **文化**／スポーツ（グラウンドゴルフ、ツーリング）、音楽（コカリナ、青のワルツ）など
- ◆ **環境**／都心からアクセスしやすい距離、高速道路、となり組がまだある、オリンピックコース、田んぼに寝て星空を眺めることができる環境、災害は多いが地域の対応が早い、子どもを育てやすい地域 など



ひと 内部の人・外部の人など

- ◆ **内部の人**／親切で優しい人が多い、元気な高齢者の方々、人柄が皆良い、人情、人とのつながり、近所付き合い、陶芸家、ガラス作家、大工さん、多彩な住人、地域おこしに積極的な方が多い、働き者、消防団、青根DNA、華道・剣道・書道の先生など
- ◆ **外部の人**／他地域からの移住者、帰省者、観光客、登山客、キャンパー、ロードバイカー、法政大学の池田先生、麻布大学の学生、地域外から通っている就業者、青根のファン など



その他 課題・地域振興へのアイデアなど

- ◆ **課題**
豪雨・豪雪などの自然災害への備え、獣害被害、国道改修、人が減っている など
- ◆ **地域振興へのアイデア**
 - 滞在時間を伸ばすことが必要
 - 都市に近い山里としての立地を活かさないか。
 - 青根地域を盛り上げたい！
 - 学習する場が必要
 - 新しい人が新しい環境を作る！
 - 野菜が美味しいので空地进行フル回転させたい。